

令和8年第2回土幌町議会定例会

行政報告

令和8年6月5日

本日ここに、第2回定例町議会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多用の折にもかかわらずご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

まずはじめに、5月13日開催の第3回臨時会において、令和8年度政策予算の可決・決定を賜り感謝申し上げます。今後、「チームしほろ“農村ユートピア”2世紀へ・2nd ステージ」の実現に向けて町政を推進して参りたいと存じますので、議員各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、2月定例町議会以降、現在までの町政の推移についてご報告申し上げます。

はじめに、移転新築した認定こども園及びこども発達相談センターについてですが、約10か月の工期を経て2月27日に竣工し、4月7日に落成式を執り行いました。本施設整備により、子どもたちの安心できる環境整備と発達支援体制の強化が図られるほか、地域の子育て支援拠点として多世代交流や地域活性化にも貢献して参ります。

次に、4月1日付けで人事異動を行い、新しい執行体制を整えましたのでご報告申し上げます。

今回の発令は、職員の退職補充及び昇任並びに定期異動であり、その内訳（行政委員会含む）は、新規採用として国保病院の診療部長に川原医師を迎えたほか、一般職4人、保健師1人、看護師1人、介護士3人の計10人、昇任及び異動では課長職4人、主幹職3人、係長職16人、一般職4人の計27人です。

地域おこし協力隊につきましては、4月中旬に1人退任し、現在は2人の隊員が情報発信、鳥獣対策の各業務で活動しております。

次に、令和7年度の各会計の決算状況についてですが、5月31日に出納閉鎖され、一般会計のほか、事業会計を除く4特別会計は、何れも翌年度の補正財源としての所要額を確保して決算しております。

このうち一般会計では、翌年度への繰越明許費相当分を差引きし、約4億円を翌年度繰越財源として確保することができました。今後も、効果的な予算執行と健全な財政運営に努めて参ります。

次に、2050年ゼロカーボンに向けてですが、町単独補助事業の「省エネ家電買換え促進補助金（冷蔵庫補助）」の申請受付を4月6日から開始し、また、国や北

海道の交付金事業等を活用した「住宅用高効率設備導入補助金」「既設太陽光発電設備用蓄電池導入補助金」は4月13日から、開始から4年目となる太陽光や蓄電池などへの導入補助「自家用消費型太陽光発電設備等導入補助金」は5月7日から、それぞれ申請受付を開始しております。

次に、デジタル関係についてですが、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）の交付を受け、デジタル郵便（SmartPost）を導入しました。本事業は、これまで郵送していた各種案内や通知文書などをマイナンバーカードとスマートフォンを所有している町民に対して、スマートフォンに直接通知するもので、住民の利便性の向上と、昨今大幅に値上げされた郵便料の削減などに寄与するものと考えており、今後、利用拡大に向けた周知に努めて参ります。

次に、令和7年度のふるさと寄附の状況についてですが、寄附件数全体では36,056件、総額5億6,944万円となったところであり、その中で昨年10月の制度改正（ポイント廃止などの厳格化）の影響を受けた感謝特典事業への申込件数は、36,026件（前年33,

111件)、寄附額では、過去最高の5億3,598万円(前年4億9,998万円)となりました。

また、企業版ふるさと納税の令和7年度実績は、5件820万円となったところであり、令和8年度4月には、1件物納としてポータブル蓄電池とソーラーパネル各3台の寄附をいただいたところです。

町外の個人・企業の皆様から応援をいただきましたことに改めて感謝申し上げるとともに、個人版のふるさと納税については、近年は制度改正が多く、今年も10月から募集費用の割合変更や調達費用妥当性の確保などの制度改正が予定されていますが、町内の地場産品の振興につながる取り組みとして、企業版ふるさと納税については、4つの重要プロジェクトをそれぞれ積極的にアピールし、更なる地域好循環を目指して参ります。

次に、川西へき地保育所についてですが、地域との合意のもと令和8年3月末に閉所いたしました。NPO上居辺へき地保育所においても、3月19日に閉所式が行われ、70年余りの歴史に幕を下ろしました。長年にわたる保育所運営に際し、地域の皆様から賜りましたご支援に深く感謝申し上げます。引き続き、時代にふさわし

い子育て環境の充実と幼児教育・保育の発展に努めて参ります。

次に、道の駅ピア21しほろについてですが、令和7年度の来場者数は、前年度から4千人増加し、38万7千人（前年度38万3千人）、売上額は1,900万円増加（前年比7.4%増）し、2億8,100万円となりました。オープンから10年目を迎えた今回の大型連休期間中や4月25日の「誕生祭」には、町内外から多くの方々が訪れ賑わいを見せました。

次に、しほろ温泉プラザ緑風についてですが、今年の4月18日にグランドオープンを迎えてから1年が経過し、お得な「日帰り入浴とランチセット」の販売などのリニューアル1周年記念イベントを行いました。町内外から多くの入浴・宿泊客に来訪いただいているところであり、令和7年度は入浴客及び売上額において、直近7年間で最高となっています。引き続き、町民の皆様に愛され続ける健康増進施設を目指すとともに、新たな付加価値と魅力を持った観光拠点として交流・関係人口の拡大に努め、町の更なる発展に取り組んで参ります。

次に、農畜産物加工研修施設（愛称：しほろキッチン）

についてですが、食育学習の一助を担う「大地くんと学ぼう」事業では、町内3つの小学校と中学校より児童生徒121人を受け入れたところです。令和7年度の利用者数は、延べ90グループ、557人（前年度54グループ、347人）となりました。引き続き、利用者のニーズを捉え、“身近”で“気軽”に利用でき、有意義な加工研修を提供する施設となるよう努めて参ります。

今後においても、道の駅ピア21しほろや士幌高校、株式会社チアーズが連携をしながら、新しい“食”の創造、まち発信など一体的に取り組み、地域の発展を目指して参ります。

次に、今年の農作物の作付け状況及び作況についてですが、5月15日現在における農業振興対策本部のまとめた説明資料のとおり、春耕期は寒暖差が大きかったものの、平均気温は平年並みとなり、馬鈴しょの植付やてん菜の播種・移植作業は平年より早い時期から開始され、豆類やコーン類の播種も順調に進んでいます。秋まき小麦は、融雪が早かったため雪腐病の影響も少なく生育は順調に推移しています。また、粗飼料についても、デントコーンの播種作業は円滑に進んでおり、牧草の生育も

良好であることから、良質な粗飼料の収穫が期待されます。

今後とも関係機関との連携の下、豊穰の出来秋を迎えられるよう、適切な管理作業等の指導に万全を期すとともに、農作業事故防止の啓発に努めて参ります。

次に、畜産情勢についてですが、生乳生産においては、目標数量を基に計画的な生乳生産が実施され、昨年度の生乳生産実績数量は108,808トンとなり、生乳販売高は約129億円と過去最高を更新したところであります。個体販売においても、約261億円に達し、前年度を上回る実績となっております。

次に、農業を取り巻く情勢についてですが、世界的な情勢不安を背景とした肥料・飼料・燃料価格の高止まりに加え、石油関連製品の更なる値上げや供給不安が、生産コストの増大と資材供給の不安定化を招き、農家経営を大きく圧迫し、現在、多くの農家が極めて厳しい経営環境を強いられております。

そのような中、国は『改正食料・農業・農村基本法』に基づく新たな基本計画を踏まえ、2025年度からの5年間を『農業構造転換集中対策期間』と位置づけまし

た。食料安全保障の強化に向け、農地の大区画化、共同利用施設の再編・集約、スマート農業技術や新品種の実装、生産性向上に資する農業機械の導入等を集中的かつ計画的に推進する方針です。

本町の基幹産業である農畜産業が持続可能な発展を遂げられるよう、今後も関係機関と連携し、農畜産物の安定供給と農家経営の安定化に向けた効果的な取り組みを展開していく所存であります。

次に、国営かんがい排水事業についてですが、農地への湛水被害解消を図るため、「士幌共励地区」として、「地区調査申請」を関係機関へ要請してきたところですが、令和8年度、農林水産省における公共事業の個所別予算で「士幌共励地区」が新規調査地区として公表されたところであります。

次に、建設事業の執行状況について申し上げます。

土木関係では、中士幌11号東線交付金道路改良工事を含む15件を発注したところであります。今後も、補助事業の発注を含め適期に工事ができるよう努めて参りますとともに、町の単独工事につきましても、地域からの要望を踏まえ進めて参ります。

土地改良関係では、道営農地整備事業3地区の圃場整備と道営農道事業、道営明渠排水事業合わせて2地区を実施する予定です。また、町が実施します団体営事業では、下居辺地区畑地等促進整備事業及び中音更地区農道整備事業の工事を予定しております。

これら道営事業のうち、繰越明許費で予算措置されている一部は、既に工事が発注されており、未発注の工事についても逐次発注される計画となっております。

建築関係では、特別養護老人ホーム設備改修工事（冷房）を含む17件、上下水道関係では、士幌町簡易水道施設メーター器取替工事を含む2件を発注しております。

なお、しほろ温泉プラザ緑風浄化槽改修工事、公営住宅若葉団地新築工事（建築主体）に係る工事請負契約2件につきましては、今定例会に追加議案を上程する予定でありますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、行事関係についてですが、4月9日から23日にかけては、春季町づくり懇談会を町内全10地区で開催し、鳥獣被害への対策などそれぞれの地域の皆様から様々なご意見・ご要望をいただいたところであります。

今後も多様なニーズや課題を明らかにしながら、積極的な町づくりを推進して参ります。

4月21日には、7000人のまつり実行委員会を開催し、8月16日に本まつりを行うことを決定しました。

次に、表彰についてですが、平成16年から5期20年にわたり士幌町選挙管理委員会委員を務められ、選挙の適正な管理執行にご尽力されたとして、平原の河江信一さんが国民参政135周年・普通選挙100周年・婦人参政80周年記念表彰を受賞され、3月30日に伝達を行っております。

次に、国民健康保険病院の令和7年度の決算状況についてご報告申し上げます。

患者数では、入院で前年度比748人、6.4%増の12,428人、病床利用率は4.1ポイント増の68.1%、外来で前年度比1,182人、6.3%増の19,930人となりました。

収支決算額では、他会計の負担金を除く病院事業収益は、前年度比3,937万円、9.6%増の4億4,825万円となり、病院事業費用では、前年度比7,298万円、8.1%増の9億7,452万円となりました。

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた収支不足額は、前年度比3,361万円増の5億2,626万円となり、一般会計が負担する他会計負担金は、前年度比4,000万円増の4億6,000万円となりました。

なお、詳細につきましては、説明資料に「令和7年度決算状況」を添付しておりますのでご参照願います。

診療体制につきましては、4月1日付で診療部長として川原義典医師が着任し、医師4名体制で診療を開始しました。これにより、午前・午後ともに内科診療が可能となり、診療体制の充実が図られたところです。また、社会医療法人即仁会北広島病院などからの非常勤医師の派遣や札幌医科大学呼吸器・アレルギー内科をはじめとする各医大・教室からの当直医の応援を受け、業務に支障が生じないよう対応しているところであります。

今後におきましても、保健・医療・福祉を包括する「福祉村」の中核施設としての役割を担うべく、引き続き、サービス向上と経営改善の取り組みを進めるとともに、良質で適切な医療サービスの提供に努めて参りますので、議員各位のご指導とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今定例町議会に提出の案件は、専決処分の承認1件、人事案件1件、条例の一部改正1件、補正予算3件のほか、報告は繰越明許費繰越計算書1件、経営状況報告2件、専決処分の報告1件となっております。追加議案として工事請負契約の締結及び物品購入契約の締結を予定しております。

それぞれ詳細をご説明申し上げますので、充分ご審議の上、可決決定賜りますようお願い申し上げます、行政報告に代えさせていただきます。